

総合治水推進週間イベントニュース

平成18年5月21日(日) 快晴 ☀

5月15～21日は「総合治水推進週間」。その最終日に『ならの防災を知ろう、地域で守る総合治水』と題して、大和川流域における総合治水対策の推進に向け、流域住民に「総合治水」の認識と理解を深めてもらうPRイベントを開催しました。

催事の概要

今年で9回目となる総合治水イベント。今回は大和郡山市の浄化センター公園で開催。「ならの防災」をテーマに、総合治水博士講座やパネル展、災害対策車の展示といった会場イベントとともに、総合治水施設を見学するバスツアーなども行い、大盛況の1日でした。



模型を使っての博士講座。都市化が洪水の要因を作っていることがよくわかります。



奈良盆地の標高図を持って説明する元永事務所長

ステージイベント

- オープニング：ビジョーズ和太鼓隊
- 総合治水博士の「なるほど・ザ・総合治水」
- 高橋恵子氏「ガーデニングのすすめ」
- まこと保育園児マーチング演奏
- 親子で学ぶ総合治水オリジナルショー

コーナー展開

- パネル展「わたしたちのまちの総合治水」
- パネル展「大和川の再生を目指して」
- 非常食試食体験
- はたらくるま乗車体験
- ミニショベルカー運転体験
- おもしろ自転車運転体験
- 総合治水クイズラリー

ミニバスツアー

大和郡山市内の総合治水施設を巡るバスツアー

11:00～15:00までの間、1,000人以上の来場者のもと、ステージでは総合治水を解りやすく伝える博士講座やオリジナルストーリーショー、家庭でできる総合治水のすすめとしてガーデニング講座を行いました。また、地元の「まこと保育園」のご協力を得て、子どもたちの素晴らしい演奏が会場に華を添えてくれました。ステージ以外の各コーナーで子どもたちに人気があったのは、降雨体験やミニショベルカ一体験。総合治水施設見学バスツアーはあっという間に定員が埋まり、キャンセル待ちが出るほど！最後は、博士の総合治水O×Kイズで大いに『総合治水』を学んだ一日でした。



災害時に活躍する「はたらく車」も2台展示しました



強い雨が体験できる降雨体験機も登場



「あら！おいしい」と大人気の非常食コーナー

ミニバスツアー



鰐堀池では大和郡山市職員に説明いただきました。



郡山高校城内学舎では奈良県職員に説明いただきました。

参加者のアンケートより

「私たちの生活に関わることなので、家庭でも出来ることはやろうと思います。」「子どもたちがいろんな体験ができる本当にとても喜んでいました。」「こういうイベントは身近に感じるのでするべき。子どもも楽しめ、親も勉強になりました」「非常食っておいしいのでビックリ」「大和川のことがよくわかりました」